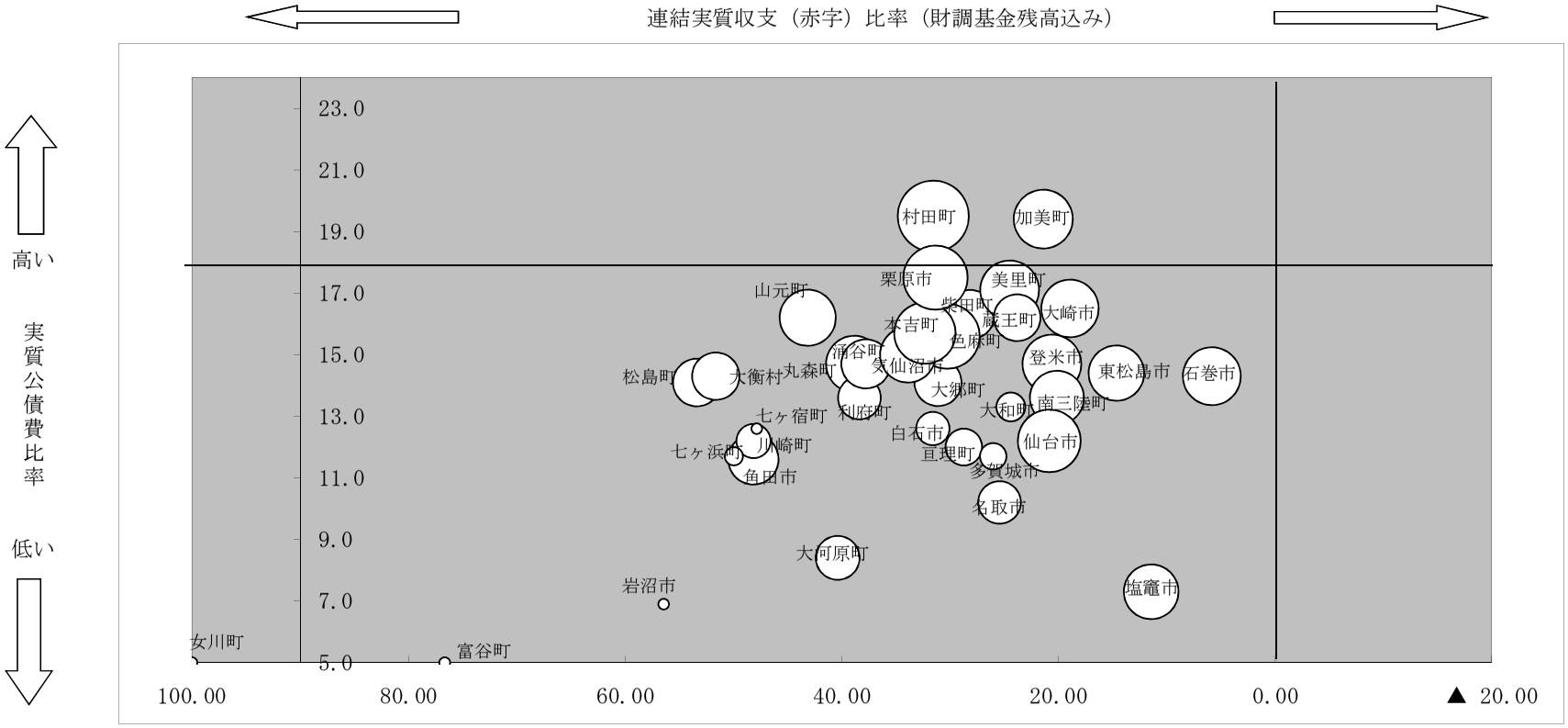
４．県内市町村の健全化判断比率に係る分布図

下記の分布図は、県内市町村の健全化判断比率について、横軸で連結実質赤字比率、縦軸で実質公債費比率、丸の大きさで将来負担比率を表したものである。連結実質赤字比率に関しては、連結で黒字となる市町村についても連結実質収支比率として、横軸に配置した。

※連結実質収支（赤字）比率の分子には、一般会計等における財政調整基金残高を加算している。連結実質収支（赤字）比率そのものではない点に注意。
なお、一般会計等における財政調整基金残高については、26ページを参照。



※女川町の連結実質収支（赤字）比率（財調込み）は190.1、実質公債費比率は4.1。富谷町の実質公債費比率は2.1。（図上では位置を調整している。）

○の大きさ　＝　将来負担比率

※将来負担比率　高い　⇒　○が大きい